



令和 4 年度に係る主な業務実績に関する報告

令和 5 年 6 月
兵庫県公立大学法人

令和4年度に係る主な業務実績の報告

1. 水素エネルギー・GXに関する取組の推進

令和4年度の中期計画の見直しにおいて、**重点的に取り組む分野**として、趣旨及び項目④⑦②④②⑤②③③に追加

	取組の方向性	ページ数：業務実績報告書 丸数字：中期計画の項目No.	令和4年度の主な取組	ページ数：業務実績報告書 ナンバー：年度計画の項目No. ローマ数字はR4中期計画変更で追加した新項目
教育	グリーン社会で活躍できる専門人材の育成 ■ 環境・エネルギー等に関する時代のニーズに即した知識の習得 …P15 ⑦ ■ 社会人等を対象とした専門性の高い人材を育成するリカレント教育の充実 …P8 ④ P46 ③③		■ 国際商経学部では 企業から講師を招きメタネーションに関する講義を実施 。また、水素エネルギー共同研究センター等による講演会・シンポジウム（計6回、テーマ「低炭素社会から脱炭素社会に向けた取組」など）に学生が参加し、GXへの関心を高めた。 …P15 No.20 ■ 専門性の高い人材を育成する リカレント教育の実施拠点 として、新長田キャンパスプラザ（仮称・R6開設）の運営体制等の検討を開始。企業からの寄附金による講座の開設に向け準備を進めた。  …P46 No.64	
	水素・グリーン研究の推進 ■ 基礎研究から社会実装まで幅広くGXに関する研究を推進 …P31 ②① P32 ②① P38 ②⑤ ■ 文理融合による研究体制の構築 …P31 ②① ■ 水素エネルギー研究の新たな拠点設置の検討 …P38 ②⑤		■ 水素エネルギー共同研究センターを中心に水素関連研究を実施した。 …P38 No.IV <主な研究例> アンモニアボランの水素生成反応触媒、水素電池をモデルとする高圧水素材料 など ■ 学長の特色・個性化経費を活用し、学内の GX・カーボンニュートラル関連研究等を支援 （12件、3,000万円）。このうち、重点プロジェクト研究として採択（700万円）した水素エネルギー共同研究センター、政策科学研究所、高度産業科学技術研究所及び関係研究科による共同研究では、 政策科学が主導する水素社会実現に向けたエネルギー利用研究の基盤設計 を図った。 …P31 No.42, P34 No.46 ■ カーボンニュートラルの実現に向けた水素社会形成拠点の構築 を目指し、県・姫路市・企業等と共同で「共創の場形成支援プログラム（JST外部資金）」に申請。新たな研究拠点の設置に関する検討などに取り組んだ。 …P38 No.IV	
研究	水素社会の実現に向けた関係機関との連携の推進 ■ 兵庫県をはじめとした自治体、産業界等との連携・協力を深化 …P38 ②⑤			
	GX分野における産学連携の推進 ■ 本学が持つリソースや知見を活用した産学連携の推進 …P42 ②⑧		■ ひょうご水素利活用サロンを新たに開設 し、企業との間で意見交換を行い、企業のニーズ・シーズに即した産学連携による水素社会の実現を目指す。また、水素燃料電池の電極触媒に関して特許出願に向け企業と共同研究を実施 …P42 No.58, P41 No.56 ■ 政策科学研究所では、 脱炭素社会・水素社会の実現に向けた啓発シンポジウムを3回開催 （「脱炭素社会の未来を拓くアンモニアの可能性」など、参加者延べ約460名）  …P46 No.64	
社会貢献	GX関連シンポジウム・公開講座の開催 ■ 時代のニーズを的確に捉えたシンポジウム等を開催 …P46 ③③			


令和5年度の主な計画

- ・グリーン等の成長分野の人材育成に向けた学部等の改編を検討
- ・学内外の関係機関等が連携し、文理融合によるグリーン水素関連研究を推進
- ・リカレント教育・産学連携の拠点となる新長田キャンパスプラザ（仮称）の開設に向けた準備を推進
- ・水素エネルギー研究の新たな拠点設置に向けた取組を推進
- ・県、姫路市、企業等と共同でカーボンニュートラルの実現に向けた共創の場を形成

令和4年度に係る主な業務実績の報告

2. 教育・研究・社会貢献におけるDXの推進

令和4年度の中期計画の見直しにおいて、**重点的に取り組む分野**として、趣旨及び項目④⑥⑦⑨⑳㉘㉙ご追加

	取組の方向性 ページ数：業務実績報告書 丸数字：中期計画の項目No.	令和4年度の主な取組 ページ数：業務実績報告書 ナンバー：年度計画の項目No. ローマ数字はR4中期計画変更で追加した新項目
教育	デジタル社会で活躍できる専門人材の育成 ■ 社会情報科学部と情報科学研究科の連携による専門人材の育成 …P14 ⑥ ■ データサイエンスなど時代のニーズに即した知識の習得…P15 ⑦	■ 完成年度を迎えた社会情報科学部では、接続する 情報科学研究科に1/3以上の学生が進学。就職率は100% …P14 No.19 ■ DX推進のモデル事業として、 姫路環境人間Cに最新デジタル技術で学びをサポートするDX教室を整備し運用開始 …P16 No.21 ■ 令和4年度より全学部生を対象に 各学部において「数理・データサイエンス・AI教育プログラム」を実施し、令和5年度に文部科学省に同プログラム（リテラシーレベル）の認定申請を行う。 …P15 No.20 ■ 入国制限で来日できない留学生向けのオンライン授業など、コロナ禍の経験を生かした教育手法の確立に向け、学生・教員へアンケート調査を実施。オンライン授業の利用実態や効果を分析のうえ、令和4年度は 無線LANシステム等の追加整備を実施 …P19 No. I
	ポストコロナにおける新たな教育手法の確立 ■ 対面とオンラインの利点を組み合わせたベストミックスの構築 …P19 ⑨	
研究	情報系の教育・研究組織を生かした研究の推進 ■ 情報系の教育・研究組織を生かした情報セキュリティ、デジタルヘルス、データ駆動型科学等の研究の推進 …P31 ㉔	■ 情報科学研究科 では、スパコン富岳を活用した最先端の研究など、高い研究力を発揮し、令和5年度の科学研究費助成事業において、 情報学基礎論関連分野の部局別採択件数で全国1位を達成した。 …P29 No.39 ■ 令和4年度に開設した先端医療工学研究所において、工学・情報科学の先端技術と医学・看護学を融合した研究開発に取り組み、隣接する 県立はりま姫路総合医療センターとの間で現在12件の共同研究を実施中。 加えて、 神戸大学病院をはじめ学内外の共同研究約10件を進行中 …P31 No.42 
	教員の業績データ活用による研究の戦略的推進 ■ 教員の業績データを管理する新システムを開発し、戦略的に研究を推進 …P75 ㉙	■ 教員の活動実績、業績データ等を一元的に管理可能な 新たな教員評価システムを開発。 令和5年度から運用を開始し、データを用いて戦略的に研究を推進 …P75 No.VIII
社会貢献	DX分野のリカレント教育の充実・産学連携の推進 ■ 本学が有するリソースや知見を活用し中小企業のDX化を支援 …P8 ④ P42 ㉘	■ 中小企業のDX人材育成のため、Web教材「DX入門」「DXにおけるAI活用」を作成。 県・兵庫工業会と連携した リカレント教育を実施 （約70名受講） …P42 No.59

令和5年度の主な計画

- ・対面授業とオンライン授業の双方の利点を取り入れたベストミックスによる教育を構築
- ・地域や産業界のニーズを反映したDXリカレント教育プログラムをさらに充実
- ・マネジメント部門におけるDXを推進し、業務の効率化及び高度化を推進
- ・教学マネジメントセンターを設置し、教学IRに関する取組を促進
- ・地元企業等との共同DX事業（実証実験・教材作成）を引き続き実施
- ・ICTの活用等による教職員の多様な働き方を検討

令和4年度に係る主な業務実績の報告



3. グローバルリーダーをはじめとした次世代リーダーの育成の推進

令和4年度の中期計画の見直しにおいて、**重点的に取り組む分野**として、趣旨及び項目②⑥⑦⑭に追加

	取組の方向性 ページ数：業務実績報告書 丸数字：中期計画の項目No.	令和4年度の主な取組 ページ数：業務実績報告書 ナンバー：年度計画の項目No. ローマ数字はR4中期計画変更で追加した新項目
教育 グローバル社会で活躍できる人材の育成 ■ 国際的課題に対応できるコミュニケーション力を有した人材の育成 ……P3 ① ■ ポストコロナ社会における国際交流のあり方の検討 ……P5 ② 社会を牽引する次世代リーダーの育成 ■ 常に時代に即応した学部・学科等の改編を検討 ……P14 ⑥ 社会に新たな価値を創出できる人材の育成 ■ 学生の起業マインドの養成、スタートアップ支援教育の推進 ……P23 ⑭ 幅広い教養に基づく豊かな人間性の涵養 ■ プログラム改編や新たな実施体制の構築による教養教育の充実 ……P15 ⑦		<ul style="list-style-type: none"> ■ 外国人インストラクターを増員（R3:2人 R4:3人 R5:5人）し、語学授業の担当に加え、昼休みを利用した英会話サロンを開催し※、英語学習環境の充実を図った。※姫路工学キャンパスでは令和5年度より実施 ……P5 No.3 ■ 国際商経学部GBCの日本人学生に対し、従来の海外英語研修に加え、海外留学を必修とする新カリキュラムを検討。新たに上海财经大学（中）と交換留学協定を締結。さらに現在5大学と交渉し、留学先の確保に取り組んでいる。 ……P4 No.2, P5 No.3 ■ 本学所有の放射光施設ニュースバルをはじめ、県下の高度な研究基盤（SPring-8、スパコン富岳など）を活用した先進的な教育プログラムの更なる改善やデジタル・グリーン等の成長分野の人材育成に向けた学部改編等の検討を新たに開始 ……P14 No.19 ■ 起業・スタートアップを目指す学生等を対象とした「起業人材育成プログラム」を開講（受講者数 R3:25人 R4:32人）するとともに、附属中学校・高校では生徒が起業を疑似体験する実践型教育プログラムを実施した。 ……P23 No. II ■ 新カリキュラム移行後の全学DPや科目体系原案の見直しを行うとともに、令和5年度のシラバスでは、各科目に対応するDPや関連するSDGs目標を追加し、学生が履修登録・受講する際により分かりやすい内容となる改善を図った。 ……P15 No.20

4. SDGs達成に貢献する取組の推進

令和4年度の中期計画の見直しにおいて、**重点的に取り組む分野**として、趣旨及び項目②③⑥に追加

教育・管理運営 ダイバーシティ&インクルージョンの推進 ■ ダイバーシティに係る意識啓発の推進及び必要な支援体制の強化 ……P21 ⑫ ■ 多様な人材がその能力を最大限に活かし、共創できる環境の実現を目指し、ダイバーシティ&インクルージョンを推進 ……P71 ⑥①		<ul style="list-style-type: none"> ■ 食堂へのヴィーガン・ハラルフードの導入の実現に向けた活動など、ダイバーシティ推進に関する活動を行う学生団体（4団体）への支援を実施。活動成果が対外的に評価され、外部の賞や助成金を獲得した。 ……P21 No.31 ■ 誰もが働きやすい職場環境づくりや女性の登用・定着促進に取り組む企業として、ひょうご・こうべ女性活躍推進企業（ミモザ企業）の第1期認定企業に選定された。  ……P71 No.96
研究 SDGs達成に寄与する研究の推進 ■ SDGs達成に寄与する異分野融合の学際的・創造的研究を推進 ……P32 ⑳		<ul style="list-style-type: none"> ■ 学長の特色・個性化経費を活用し、学内のSDGs関連研究を支援（7件、830万円） <研究内容>・低中所得国における健康危機対応能力の向上を通じたSDGsへの貢献 ……P32 No. III ・SDGs達成に向けたエコキャンパス化 など
社会貢献 地域や地元企業と協働した社会課題解決への貢献 ■ 地域団体・地元企業と連携したSDGs達成に貢献する取組の推進 ……P47 ⑳④ ■ SDGsに関する全学的なフォーラム・シンポジウムの開催 ……P46 ㉓		<ul style="list-style-type: none"> ■ 環境試験器の世界トップメーカーとSDGs推進に向けた連携協定を締結し、生物多様性復元の取組等を開始  ……P47 No.65 ■ 「気候変動と国連-SDGsがもたらす未来-」「SDGsと国際交流」など、環境人間学研究科や政策科学研究所等でSDGs関連のシンポジウム等を7件開催 ……P46 No.64

令和4年度に係る主な業務実績の報告

5. その他の令和4年度の特徴的な取組


	取組の方向性 ページ数：業務実績報告書 丸数字：中期計画の項目No.	令和4年度の主な取組 ページ数：業務実績報告書 ナンバー：年度計画の項目No. ローマ数字はR4中期計画変更で追加した新項目
教育	教育のさらなる質の向上に向けた取組 ■ 全学的に教学マネジメント体制の確立に向けた取組を推進 …P19 ⑩	■ シラバスの記載内容や授業評価アンケート等の見直しに加え、総合教育機構に、教学マネジメント体制を構築するための全学組織「 教学マネジメントセンター 」を設置するための準備を進めた（R5.4.1開設）。 …P19 No.27
研究	高度な研究基盤を活用した先導的な研究の推進 ■ 本学のニュースバルやなゆた望遠鏡のほか、SPring-8やスパコン富岳など県下の高度な研究基盤を活用した先導的な研究を推進 …P28 ⑬	■ 経済、粒子シミュレーション等の分野において スパコン富岳を活用した共同研究 を5件実施 …P29 No.39 ■ ニュースバルを活用した極端紫外線リソグラフィ関連の基盤技術開発 では、国内外の企業2社と共同研究や学術相談等を実施 …P29 No.40 ■ なゆた望遠鏡を用いた共同研究等を23グループと実施 。機能強化支援拠点として文部科学省より5,000万円（3年間計）の補助を獲得 …P30 No.41
貢献	医産学看の連携の推進 ■ 先端医療工学研究所にイノベーションサロンを開設し、医師・看護師・栄養士・企業等と連携した共同研究・共同事業を推進 …P45 ⑳	■ 社会課題の解決に貢献する新たな事業創出に向け、本学と企業、県立はりま姫路総合医療センタースタッフの交流、意見交換の場として、先端医療工学研究所内に企業2社からの寄附を受けて「 イノベーションサロン 」を開設した。 …P45 No.V
運営	事務局体制の強化 ■ 県派遣職員の法人独自職員への計画的な置換えや人員・組織の充実等、事務局体制を強化 …P70 ㉑	■ 県派遣職員の3割削減の中、 法人独自職員への置換計画 など他大学の状況や制度を参考に事務局体制の強化のあり方を検討（両大学共通） …P70 No.95

6. 中期計画に定める評価指標の状況（抜粋）

教育	① 入学者志願倍率（学部・一般選抜）					② 国際学会で発表した学生数（人）					研究	③ 外部資金獲得額（億円）						④ 共同研究・受託研究数（件）					
	R元	R2	R3	R4	平均	R元	R2	R3	R4	R元		R2	R3	R4	平均	R元	R2	R3	R4	平均			
実績	6.3	7.0	6.1	6.8		-	-	58	116	20.9	20.1	20.7	20.3	20.5	337	245	239	246	267				
目標	6.0	5.9	5.7	5.6		80人/年				6年間平均：20億円					6年間平均：300件								
目標	公立大学全国平均以上																						
社会貢献	⑤ 地域連携事業実施件数（件）						⑥ 公開講座延べ受講者数（人）					管理運営	⑦ 女性教員比率（%）					⑧ 女性教員の管理職割合（%）					
	R元	R2	R3	R4	平均	R元	R2	R3	R4	R元	R2		R3	R4	R元	R2	R3	R4					
	実績	453	599	786	1047	721	3792	2326	2364	2417	22.4		22.6	23.0	23.3	-	-	17.8	21.3				
目標	6年間平均：650件					2500人/年				R6年度：25.0%					R6年度：25.0%								

令和4年度に係る主な業務実績の報告

7. 令和4年度の特徴的な取組（芸術文化観光専門職大学）

	取組の方向性	ページ数：業務実績報告書 丸数字：中期計画の項目No.	令和4年度の主な取組	ページ数：業務実績報告書 ナンバー：年度計画の項目No.
教育	地域活性化に貢献し世界に通じる専門職業人の育成 ■ 芸術文化及び観光の実践的な実習及び海外実習等の履修促進 …P49(36)		■ 豊岡演劇祭など国際的な演劇祭における運営・接客に取り組む「 芸術文化・観光プロジェクト実習1、2 」を実施した。 …P56 No.77 ■ 開学後初となる 交換留学生を韓国中央大学に派遣 するなど、グローバル人材養成に向けた 国際交流事業を本格的に開始 …P53 No.73 ■ 複数回の面談を通じ、学生の適性や意欲、成績等を勘案したきめ細やかな指導を実施 …P54 No.75 ■ 公演開催に伴う実践的スキルを修得するため、 実習の一環として学内での本格的な舞台を制作 （公演「OZ2022」では全7公演で計700人の観客を動員） ■ 但馬地域を中心とした宿泊業や旅行事業、地域創生等の臨地実習を実施 …P56 No.77 （第2Qで延べ37施設、第4Qで延べ36施設で実習を展開）	
	芸術文化及び観光の双方の視点を培うカリキュラムの編成 ■ 「クロスオーバー科目」やアカデミックアドバイザー制の導入 …P54(40)			
	段階的かつ重層的に体系化した実践教育の展開 ■ 宿泊業や地域創生等の実習科目による、実践的な能力の修得 …P56(44)			
研究	芸術文化と観光を架橋し、理論と実践を重視した研究の推進 ■ 研究プロジェクトの推進・研究推進センター開設検討 …P58(46)		■ 研究推進センターの設置に向けた検討委員会を設置 …P58 No.81 ■ 開学後初となる 研究紀要「芸術文化観光学研究」を発行（R4.9月） した。 …P58 No.81 ■ 地域との協働によるプロジェクトを展開し、19者（30件）と多岐にわたる分野での受託事業等のプロジェクトが成立 した。 …P59 No.82 ■ 地域リサーチ&イノベーションセンター（RIC）の活動について、大学HPのほかInstagram等によるPRを実施（Instagramフォロワー631人） …P60 No.83	
	産官学の協働関係・ネットワークの構築 ■ 研究に関する外部資金の導入支援や研究成果の積極的な情報発信 …P60(48)			
社会貢献	県民ニーズに応える実践講座の開設や小中高大連携の推進 ■ 公開講座や劇場等での公演等による地域貢献の推進 …P64(51)		■ 「但馬ストーク・アカデミー」と題した リカレント教育の公開講座を実施し、計215名が受講 した。 …P64 No.86 ■ 但馬地域の 高等学校等で演劇的手法を活用したワークショップを計97回実施 …P64 No.86	
	地域と世界を結びつける国際交流の推進 ■ 海外実習先の新規開拓及び大学間協定に基づく教員、学生の交流を通じた独自の教育研究のグローバル展開の推進 …P65(52)		■ 開学後初となるドイツ、台湾での海外実習を実施 した。 …P65 No.87 ■ ソウル芸術大（韓）韓国中央大（韓）トリア大（独）と交換留学協定を締結 …P65 No.87	

令和5年度の主な計画

- ・完成年度後を見据えたカリキュラム編成及び芸術文化と観光が連携した授業の改善策の検討・芸術文化観光学の研究を引き続き推進
- ・カリキュラム編成の改善等の検討により、完成年度後に向けた新たな教育研究体制の構築・引き続き卒業後の進路を見据え、アカデミックアドバイザー制を導入
- ・大阪、関西万博を見据えた自主事業や新たな地域連携事業のモデル構築に向けた取組を検討 ・特徴を活かした市民講座やリカレント講座の開催

令和4年度に係る主な業務実績の報告

8. 中期計画に定める評価指標の状況 (抜粋)

教育

① 入学者志願倍率 (一般選抜)

	R元	R2	R3	R4
実績	—	7.6	2.8	4.0
目標	各年度：5倍			

② 海外の大学との協定件数 (件)

	R元	R2	R3	R4
実績 (期間累計)	—	—	6 (6)	3 (9)
目標	R6年度：10件 (累計)			

研究

③ 科研費等外部資金申請者率 (%)

	R元	R2	R3	R4
実績	—	—	75.0	61.5
目標	各年度：80.0%			

④ 芸術文化・観光の両分野研究P数 (件)

	R元	R2	R3	R4
実績	—	—	4	7
目標	各年度：5件			

社会貢献

⑤ 連携事業者数 (者)

	R元	R2	R3	R4
実績 (期間累計)	—	—	9 (9)	19 (28)
目標	R6年度：50者 (累計)			

⑥ 公開講座の延べ受講者数 (人)

	R元	R2	R3	R4
実績	—	—	85	299
目標	各年度：300人			

管理運営

⑦ 女性教員比率 (%)

	R元	R2	R3	R4
実績 (期間累計)	—	—	25.0	25.6
目標	R6年度：25.0%			

⑧ メディアに取り上げられた件数 (件)

	R元	R2	R3	R4
実績 (期間累計)	—	—	241 (241)	171 (412)
目標	R6年度：600件 (累計)			